

環境活動レポート



作成：平成24年1月18日

改訂：平成 年 月 日

株式会社 東海鋳造所

環 境 方 針

株式会社東海鑄造所は、自社事業活動において生産性を向上（合格率UP、稼働率UP）することにより、省資源・省エネルギー・廃棄物削減に直結する生産活動をめざす環境経営に取り組めます。

環境経営の取り組みを重点課題として、以下の方針を定めます。

1. 環境関連の法令及びその他同意した要求事項を遵守する。
2. 事業活動において環境負荷を生産性（合格率、稼働率）に直結させ、生産性を向上させることにより環境負荷低減を図る。
3. 環境目標達成、即ち生産性目標達成の為に各部門の改善実施計画策定し、継続的な改善に取り組む。
4. 尚、この方針は全従業員に周知徹底する。

制定日： 2006年 9月 6日

改訂日： 2008年 3月21日

株式会社 東海鑄造所

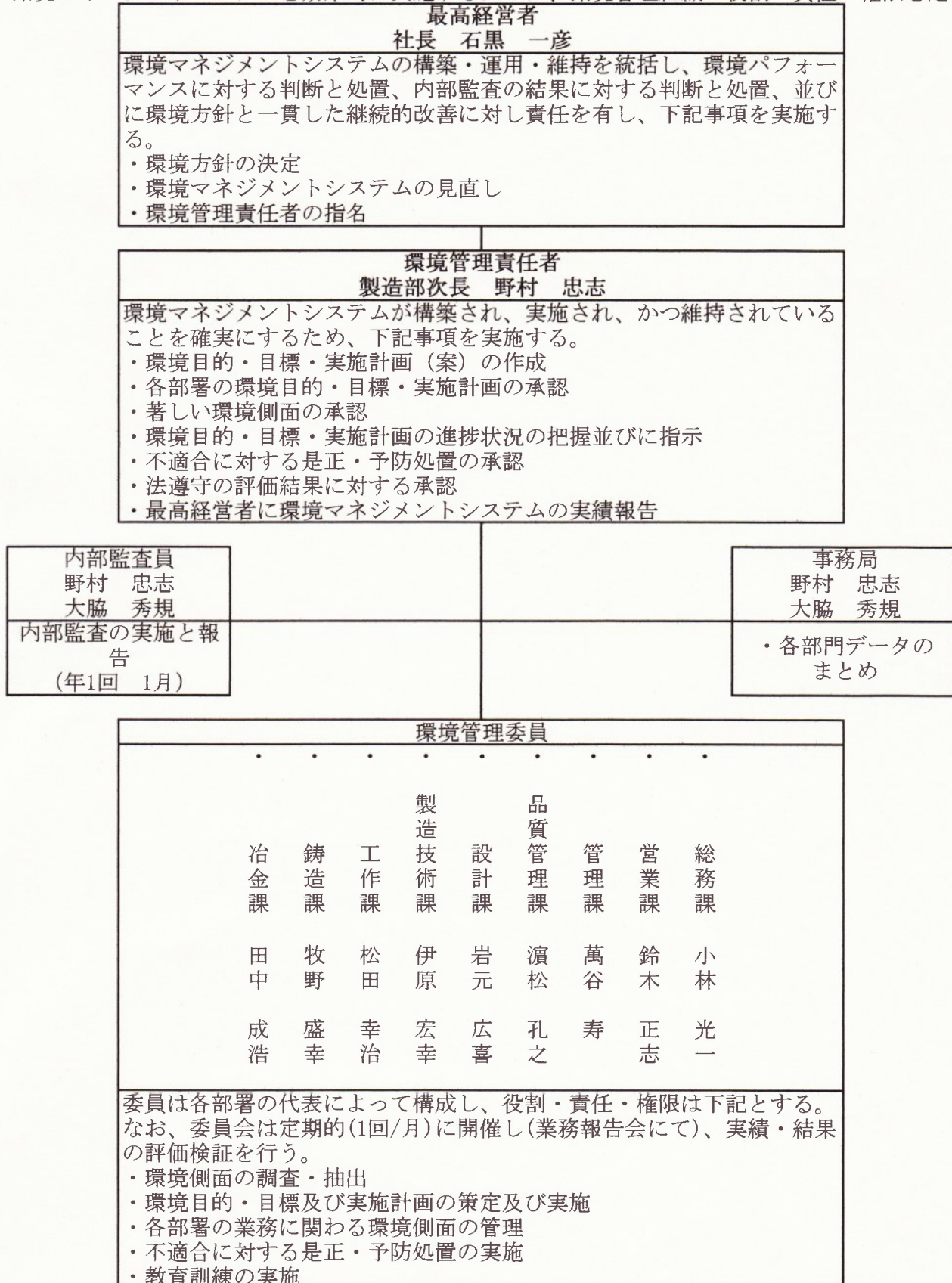
取締役社長 石黒 一彦

3. 環境管理組織機能図

改定日	作成	承認	内容
'09年12月21日	大脇	野村	環境管理委員の変更
'10年12月21日	大脇	野村	見直し
'11年12月21日	大脇	野村	見直し

承認	作成
'11年12月22日	'11年12月21日
	

環境マネジメントシステムを効果的に実施するために、環境管理組織・役割・責任・権限を定める。



4. 環境目標

2007年度～2011年度までの環境負荷低減目標値（総量及び原単位）を表1に、合格率及び稼働率の目標値を表2に示す。

表1. 環境負荷低減目標値

	2007年度			2008年度			2009年度			2010年度			2011年度				
	量単位	量/年 原単位	低減率 (%)	量/年 原単位	低減率 (%)	量/年 原単位	低減率 (%)	量/年 原単位	低減率 (%)	量/年 原単位	低減率 (%)	量/年 原単位	低減率 (%)				
1. 温室効果ガス 排出量(※1)	kg-CO ₂	20,757,884	4.2	20,176,506	6.9	18,139,948	2.3	17,697,361	4.7	17,236,194	7.2	(O/t)	1,368	1,330	1,298	1,266	1,233
2. 廃棄物総排出 量(上段)及び廃 棄物最終処分量 (下段)	t	8,844	0.6	8,807	1.0	8,489	0.3	8,456	0.7	8,424	1.1	(O/t)	0.583	0.580	0.607	0.605	0.603
	t	164	0.6	163	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	(O/t)	0.01081	0.01076	0.00000	0.00000	0.00000
3-1. 総排水量	t	50,532	4.2	49,092	6.9	54,719	2.3	53,384	4.7	51,993	7.2	(O/t)	3.33	3.24	3.92	3.82	3.72
3-2. 水使用量	m ³	76,118	4.2	73,986	6.9	74,917	2.3	73,090	4.7	71,185	7.2	(O/t)	5.02	4.88	5.36	5.23	5.09
4. 化学物質使用 量	t	0.00	-	0.00	-	0.00	-	0.00	-	0.00	-	(O/t)	-	-	-	-	-
5. エネルギー使 用量	MJ	267,128,738	2.6	262,619,176	4.2	241,535,318	1.4	237,937,209	2.9	234,339,099	4.4	(O/t)	17,607	17,309	17,282	17,025	16,767
6. 物質使用量 (リターンスク ラップ含む)	t	40,519	0.6	40,350	1.0	38,431	0.3	38,283	0.7	38,136	1.1	(O/t)	2.67	2.66	2.75	2.74	2.73
7. サイト内で循 環的利用を行っ ている物質等 上段：リターン スクラップ 下段：循環水	t	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(O/t)	-	-	-	-	-
8. 総製品生産量 または総商品販 売量	m ³	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(O/t)	-	-	-	-	-
・グリーン購入	%	-	-	-	-	-	-	35% (※2)	-	36% (※2)	-	(O/t)	-	-	-	-	-
・自らが生産・販 売・提供する製品 及びサービスに 関する項目	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(O/t)	-	-	-	-	-

※1. 排出係数は、0.455 を使用(中部電力発表値)

※2. グリーン購入の数値目標は、文具類購入品の全体に対しての目標値

表2. 環境活動の目標値

		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
合格率	(%)	95.3	96.0	94.4	94.7	95.1
稼働率	(%)	83.0	85.0	78.4	79.9	81.9

※2007～2008年度目標は2005年度を基準に、2009～2011年度目標は2008年度実績を基準にしている。

5. 環境活動計画

当社では環境負荷低減活動を以下の2つの取組にて推進している。

1) 各課別による目標達成活動

各課において、それぞれ半期毎の活動計画を立て、合格率、稼働率の目標達成に取り組んだ。以下に活動事例を示す。

- 合格率向上) ・溶湯成分調整マニュアル作成による材質不良防止 (冶金課)
- ・ 鑄物砂の安定化 (鑄造課)
 - ・ 打痕防止対策 (工作課)
 - ・ 不良重量ワースト品対策 (設計課)
 - ・ 外注先の品質監査 (品質管理課)
- 稼働率向上) ・溶湯飛散による焼損トラブル防止 (冶金課)
- ・ 部位別チョコ停対策 (造型機、ライン) (鑄造課)
 - ・ 加工機の効率向上 (プログラム改善) (工作課)
 - ・ 劣化配線の更新 (製造技術課)

2) 横断的組織 (合理化委員会) による目標達成活動

全社一丸の活動とする為に2008年度から、横断的組織による5つのグループを立ち上げ、活動を推進した。

取組例)

- インプットG) ・溶湯歩留りの向上
- ・ 社内LAN運用によるペーパーレス化推進

- アウトプットG) ・切研粉の再溶解
- ・ ショットブラスト粉の分別による、有価引取り化

- エネルギーG) ・電気炉蓋の更新による放熱エネルギーの低減
- ・ インバータータイプのコンプレッサーへの切替
 - ・ エアー漏れ防止活動
 - ・ 出荷配送業務改善による運輸エネルギーの削減

- 品質G) ・不良品の再見直しと救済、社員教育

- 生産G) ・不要な電動設備の撤去
- ・ 注湯こぼれ削減
 - ・ 有効成分の多い廃砂の再利用